

すぐわくプログラム

年齢と性別を超えた人と人の関わり



お散歩に行く時、お兄さんお姉さんに小さい子と手をつないで歩くように声をかけたり、
小さい子をトントンしてもらう等
小さい子と繋がりが持てるきっかけをつくりました。



小さい子の見本となって
ゆっくり手を洗う大きい子

年齢を気にすることなく遊ぶ子達



相手に合わせる行動をする姿、
相手を思いやる行動が見られる様になってきました。



立ちながら付けると嫌がることが多いけど
座りながら付けると苦しくないみたいと
自然と座ってスタイルを付けてあげる子

感想

子ども達の変化を見ていくと、
年齢という概念にとらわれる事なく、
おとも達自身を見て、関わっていく姿を
見ることができました。
また、小さい子や成長がゆっくりな子達の
探究心が、自然な子ども達同士の関わりで
芽生えていく様子も見られました。

そらのいろ保育園では、

1歳から5歳までの

異年齢保育をしています。

その中には発達がゆっくりな
加配児の子や小さい子、国籍が違う子が
生活を共にし過ごしています。

そのような環境なので、

子ども同士の関わり方には、その子なりの
関わり加減や相手を思いやる姿が多く
見られるので、
「年齢と性別を超えた人と人の関わり」を
テーマにしました。



関わりが増えたことによって、小さい子、大きい子が年齢を気に
することなく自然と一緒に関わる様子が見られるようになりました。
また、大きい子達の中で「やってあげる」が増えてきました。



お話しする時、
自然と目線を合わせる子達



保育者が何も言わなくても自分達で
手を繋ぐ子を決めて
相手に合わせて歩く子

小さい子が大きい子の真似をする姿が多く見られるようになってきたので、バランスストーンを購入してみたり、活動にリトミックを取り入れることによって、最初は見ていただけの小さい子も一緒に体を動かすようになりました。
また、大きい子と図鑑をみたり、真似して動物を覚えるようになっていきました。



トントンしてあげる小さい子
言われるがまま横になる大きい子



お兄さんお姉さんの真似をして
色々な事にチャレンジする子